

施策	評価の視点	評価段階	個別評価	施策評価	コメント【実施内容・今後について】
1 「安全」で安心して飲める水道					
(1) 地下水の保全と適正な利用	①事業計画の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	B	B	3号取水井の改修に係る各種調整、4号取水井の実施設計を実施した。
	②適正揚水量の管理の状況	[適切に管理：A、一部不適合：B、全体的に問題あり：C]	B		新型コロナウイルスに係る水需要の急激な増加により、井水の1日の取水上限を超過した日が136日発生した。
	③井戸の定期点検の実施状況	[点検実施：A、部分的に実施：B、点検未実施：C]	A		毎週水位測定を実施した。 7号井戸の圧力式水位計交換を実施した。
(2) 水質監視体制の強化	①水質検査計画と水質検査の実施状況	[適切に管理：A、一部不適合：B、全体的に問題あり：C]	A	A	令和2年度の水質検査計画を作成し、同計画に基づき、水質検査を実施した。
	②残留塩素濃度の低減のための取り組み	[適切に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		井水については、県水受水残塩の数値を超えないよう配水した。
(3) 水安全計画の策定	①水安全計画の策定状況	[実施済み：A、実施の検討中：B、未実施：C]	A	A	本計画の有効性について、引き続き検討している。 水質の安全性の向上に寄与するよう本計画を適切に運用した。
(4) 直結給水方式の拡大等	①直結給水の進捗状況	[適切に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	直結給水方式の拡大
	②貯水槽水道指導の進捗状況	[適切に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		書面、口頭による指導、広報紙への掲載
2 災害時でも信頼できる「強靱」な水道					
(1) 水源計画の検討	①水源計画の検討状況（H32以降計画）	[実施済み：A、実施の検討中：B、未実施：C]	B	B	3号取水井の改修に係る各種調整、4号取水井の実施設計を実施した。
(2) 合理的な施設更新	①機電設備の更新における施設規模の妥当性	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、見直しが必要：C]	A	A	中部浄水場 次亜注入設備の制御盤を運転状況を踏まえて更新した。
	②機電設備の水害対策の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、見直しが必要：C]	A		配水ポンプの修繕など、機器故障の予防・予知保全を実施した。
	③機電設備のバックアップ能力の確保状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、見直しが必要：C]	A		配水ポンプの修繕など、機器故障の予防・予知保全を実施した。
(3) 老朽設備・老朽管の更新	①機電設備の事業計画の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A	A	4号取水井及び西部浄水場県水送水管更新設計、西部・東部浄水場配水池更新検討業務委託を実施した。
	②一般管路の更新事業の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A		配水管更新533.7m
	③拡張計画の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A		土地区画整理事業の区画街路築造進捗に応じて配水管新設 延長410.1m
(4) 基幹施設・基幹管路の耐震化	①管路の耐震化率（％）	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A	A	耐震化率52.1%
	②基幹管路【口径300mm以上】の耐震化率（％）	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A		耐震化率74.1%
	③基幹管路【口径200mm以上】の耐震化率（％）	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A		耐震化率74.1%
(5) バックアップ機能の充実	①幹線管路のループ化の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A	A	最重要基幹管路は全て耐震化済み。
	②西部浄水場電気棟が耐震化、浸水対策の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A		西部浄水場での自家発電設備の更新が完了した。
(6) ハルプ等の点検・整備	①バルブ等の点検の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	B	断水作業時に作動状況を確認。
	②西部浄水場緊急遮断弁更新の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	B		単体での更新が技術的に困難なため、鋼板製配水池更新時に対応することとした。
(7) 応急給水・応急復旧体制の強化	①危機管理マニュアルに基づく職員研修の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	C	B	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため研修は開催中止となった。
	②関係機関と連携が図れた応急給水訓練の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	C		新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため訓練は開催中止となった。
	③危機管理マニュアルの見直し状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	B		人事異動に伴う組織連絡網の見直し・修正を実施した。
(8) 災害時における関係者及び近隣事業者との連携強化	①広域連携の検討状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	上下水道事業包括委託受託者のグループ構成員による全国からの支援展開の体制づくりができています。 日本水道協会関東地方支部応援要請等情報伝達訓練を実施し、災害時応援等の連絡体制づくりを訓練の上、確認した。
(9) 連絡管整備の可能性の検討	①連絡管整備の検討状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	C	C	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため隣接事業者との会議が開催中止となった。

3 お客さまと築く「持続」可能な水道				
(1) お客さまへの情報提供の充実	①紙面やHPによる情報提供の充実	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A	B 上下水道事業広報紙「みずのめぐみ」を全戸・店舗等に2回(7/1・11/1号)配布、電子版をHPにて公開した。新型コロナウイルス感染拡大に伴う水道料金の支払い猶予等についてみずのめぐみ・HPで情報提供を行った。 水道週間に係る展示(R1.6.1~6.7)実施。 ※新型コロナウイルス感染症対策のため、本庁舎:横断幕、新曽南庁舎:のぼり・ポスター掲示のみとした。 予算等予定はしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施できず。今後の実施方法について検討要す。
	②水道事業主催のイベントの実施状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A	
	③施設見学会の実施状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	C	
(2) お客さまニーズ把握によるサービスの充実	①アンケート調査の実施状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	C	B 毎年度、施設見学会にて実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により施設見学会が実施できなかったことに伴いアンケートも実施できず。 1回開催した。※上下水道ビジョン評価及び次期上下水道事業包括委託報告 未実施。新型コロナウイルス感染症等踏まえ、今後の実施方法について検討要す。
	②経営審議会の開催状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A	
	③市民懇談会の実施状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	C	
(3) 健全な経営と事業運営の維持	①総収支比率	[計画値どおり:A、計画値とやや乖離がある:B、計画値と乖離がある:C]	B	B 水道料金の減免を行ったが、収益的収支は黒字のため100%を超過した 水道料金の減免を行ったが、収益的収支は黒字のため累積欠損金は発生しなかった 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた水道料金の減免を行ったため、料金回収率が低下した。 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた水道料金の減免を行ったため、割合が増加した。
	②累積欠損金比率	[計画値どおり:A、計画値とやや乖離がある:B、計画値と乖離がある:C]	A	
	③料金回収率	[計画値どおり:A、計画値とやや乖離がある:B、計画値と乖離がある:C]	B	
	④給水収益に対する企業債残高の割合	[計画値どおり:A、計画値とやや乖離がある:B、計画値と乖離がある:C]	B	
(4) 事務事業の効率化	①新たな業務委託の検討状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A	A 水質モニター点検業務、法定点検業務、小修繕業務、水質調査業務、財務会計業務、漏水調査業務を追加し、令和3年度から5年間の上下水道事業包括委託を契約した。
(5) 人材育成と技術者の確保	①内部研修の実施状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A	A 正式に内部研修としては実施していないが、事象(漏水等)発生時に現場で経験者から未経験者への技術継承等実施している。 水道基礎講座等計10回参加した。
	②外部研修の実施状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A	
(6) 情報の共有化	①情報システムの活用状況	[積極的に活用:A、部分的に活用:B、全く活用していない:C]	A	A 課内で情報を共有。工事、問い合わせ対応等に活用。データを毎年更新
(7) 省エネルギー対策の検討	①高効率機器・省エネルギー機器の導入状況	[更新に併せて導入:A、部分的に導入:B、導入していない:C]	A	A 東部浄水場1号配水ポンプVVVF盤等更新及びオーバーホール工事を実施し、施設の機能低下を防止した。 導入済み。継続して稼働している。
	②太陽光発電設備の導入の検討	[検討済み:A、検討中:B、未検討:C]	A	
(8) 建設副産物のリサイクル推進	①建設副産物のリサイクル状況	[リサイクル率100%:A、100%未満:B、0%:C]	A	A 埋戻し材や路盤材などに再生材を採用した。 CREDASを活用し、建設副産物の再利用を行っている。
	②建設副産物の発生抑制状況	[取り組み実績有り:A、取り組み検討中:B、未検討:C]	A	
(9) 老朽管解消による有効率の向上	①有効率の向上	[有効率96.7%以上:A、95%以上:B、95%未満:C]	C	B 有効率94.17% 戸別音聴調査34,088戸 弁柱音聴調査255.4km 管路の取組みとして配水管の耐震化を優先したため、実施しなかった。
	②漏水調査の実施状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	A	
	③私道内給水管整備事業の実施状況	[計画的に実施:A、部分的に実施:B、未実施:C]	C	